

平成22年6月2日

船の祭典2010共催事業

「香川大学瀬戸内圏研究センターシンポジウム」開催について

香川大学瀬戸内圏研究センターは、平成22年5月23日から6月13日にかけて、香川県を中心として開催される「船の祭典2010」の共催事業として「香川大学瀬戸内圏研究センターシンポジウム」を開催します。

このシンポジウムは、「船の祭典2010」の開催趣旨に基づき、瀬戸内海が抱える諸問題の解決に向け香川大学で進められている研究の成果を広く一般の方々へ発表することを通じ、幅広い見地から海への理解と関心を深めてもらうことを目的とし、当センターが推進するプロジェクト研究の中から「浅海域」及び「文化・観光」の研究分野における研究者による研究の発表と、これに関わる外部からの講師をお招きし講演をいただくものです。

1. 日時

平成22年6月9日（水） 13:30～17:00

2. 場所

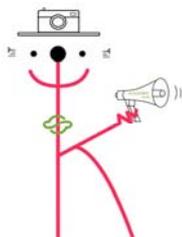
eーとぴあ・かがわ（情報通信交流館）BBスクエア（高松市サンポート・高松シンボルタワー5階）

3. 参加者（100名程度を予定）

一般市民、自治体・行政関係機関、香川大学学生・教職員など。

4. 開催内容（講演・発表）

1. 松田 治 氏（広島大学 名誉教授）
～環境管理：これまでとこれから～
2. 多田 邦尚 （香川大学農学部 教授）
～水圏環境の変化と水産～
3. 一見 和彦 （瀬戸内圏研究センター 准教授）
～残された干潟とその重要性～
4. 稲田 道彦 （香川大学経済学部 教授）
～瀬戸内海の島の暮らしの変化～
5. 高橋 毅 氏（写真家、（有）タカハシ・フォト・スタジオ代表取締役）
～景観の変遷とこれから～
（コーディネーター：本城凡夫（香川大学 瀬戸内圏研究センター長））



お問い合わせ先

- 香川大学 学術室 研究協力グループ 井上
- TEL：087-832-1316
メール：tikyosenm@jim.aokagawa-u.ac.jp

船の祭典2010共催事業

香川大学瀬戸内圏研究センターシンポジウム

瀬戸内海の環境 および文化・景観の 変遷とこれから

日時 平成22年6月9日(水) 13:30~17:00

会場 e-とぴあ・かがわ(情報通信交流館)
BBスクエア(高松市サンポート・高松シンボルタワー5階)

■主催 香川大学瀬戸内圏研究センター・船の祭典2010実行委員会・(社)香川県観光協会
■お問い合わせ/香川大学 学術室 研究協力グループ TEL:087-832-1316 FAX:087-832-1319
E-mail:tikyosenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

<http://www.kagawa-u.ac.jp/setouchi/>

参加費
無料

 国立大学法人香川大学

瀬戸内海の環境 および文化・景観の 変遷とこれから

日時／平成22年 6月9日(水) 13:30～17:00
会場／e-とぴあ・かがわ(情報通信交流館)
BBスクエア
(高松市サンポート・高松シンボルタワー5階)

お問い合わせ 香川大学 学術室 研究協力グループ
TEL:087-832-1316 FAX:087-832-1319
E-mail:tikyosenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

講演内容

松田 治 (広島大学 名誉教授)
『環境管理:これまでとこれから』

多田 邦尚 (香川大学農学部 教授)
『水圏環境の変化と水産』

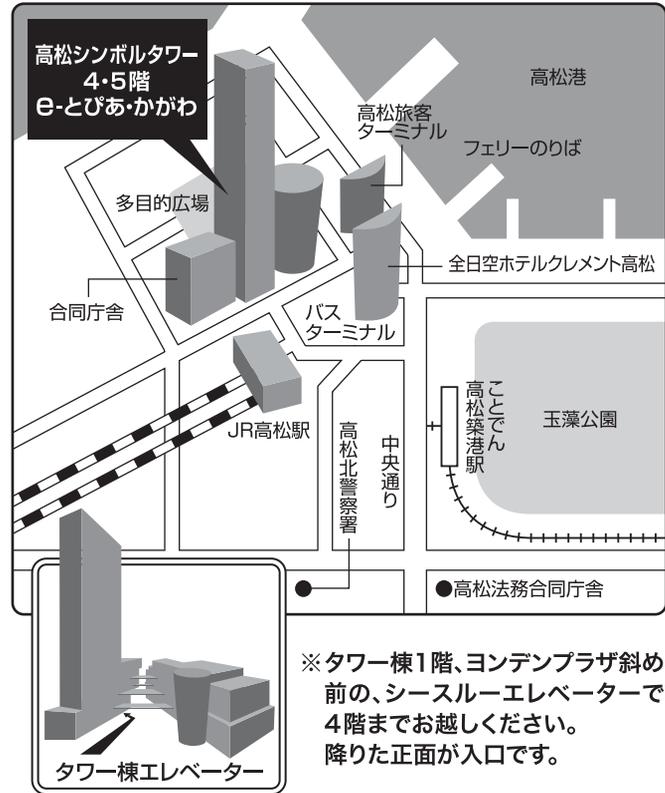
一見 和彦 (香川大学瀬戸内圏研究センター 准教授)
『残された干潟とその重要性』

稲田 道彦 (香川大学経済学部 教授)
『瀬戸内海の島の暮らしの変化』

高橋 毅 (写真家)
『景観の変遷とこれから』

■コーディネーター

本城 凡夫 (香川大学瀬戸内圏研究センター センター長)



学術講演会 参加申込書

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FaxまたはE-mailにてご連絡くださいますようお願いいたします。ご記入いただく個人情報につきましては、今回のシンポジウムでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

■ FAX:087-832-1319 ■ E-mail:tikyosenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

ご所属	お名前	電話番号	E-mail
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

※〆切 6月7日(月)【当日参加も可能です】